

施設・事業所のための リスクマネジメント研修 開催要綱

趣旨 福祉施設・事業所において最も大切なのは、利用者が安全にケア・サービスを受けられることと、職員が安心して働けることです。昨今の権利意識の高まりによって、福祉施設・事業所の安全対策や危機管理は、これまで以上に重要な視点となっています。

本研修は、福祉施設・事業所における事故の未然防止や再発防止に向けて、安定した事業活動を図ることを目的に開催します。

<この研修のポイント>

- リスクマネジメントの視点から、ケアの質向上や利用者・職員の安全確保を学べます
- 日頃から事故予防を意識した体制整備や運用の見直しの考え方、工夫を整理できます
- 事故発生時の役割分担や対応、再発防止に向けた取り組みを理解できます

<こんな方におすすめ>

- 安全対策担当者を担う方、また安全管理体制について理解を深めたい方
- 組織全体での事故予防や再発防止への取り組みを学びたい方
- 事故発生時の対応を具体的な事例を通して学びたい方

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

社会福祉施設・事業所の管理者および指導的立場の職員
介護保険施設において安全対策担当者を担う方（予定の方を含む）
※介護保険施設を中心とした内容ですが、他の福祉施設・事業所の方も受講いただけます

配信期間

令和8年9月10日（木）～令和8年10月30日（金）

申込期間

令和8年7月10日（金）～令和8年8月7日（金）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

受講決定

令和8年8月14日（金）までにご連絡します。

時間	研修科目	研修内容
約 60 分	講義 1 「安全なケアを支えるリスクマネジメント」	<p>令和3年度の介護報酬改定で「安全対策担当者」の選任が義務化された背景から、リスクマネジメントの目的や安全対策担当者の役割について再確認します。</p> <p>また、情報が正誤に関わらず拡散しやすい中で、適切なリスクマネジメントがケアの質向上や利用者・職員の安全確保にどのように役立つかを考えます。</p>
約 90 分	講義 2 「事故予防に向けた対策と体制整備と運用の見直し」	<p>福祉施設・事業所のリスクマネジメントで最も重要なのは、事故予防に取り組む組織の基盤です。</p> <p>職員の心理的安全を担保し情報を共有できる職場風土や、個人を責めず組織として対応する姿勢が、事故予防や事故の未然防止につながることを理解します。</p> <p>さらに、体制整備と運用の見直しに向けた日々の取り組みについて考えます。</p>
約 60 分	講義 3 「事故発生時の対応と再発防止」	<p>日頃から事故予防に取り組んでいても、事故が発生してしまうことはあります。事故発生時の役割分担や対応方法を理解し、事故の拡大を防ぐ考え方や具体例を整理します。</p> <p>また、再発防止には、事故検討や職員研修が有効ですが、講師役職員の負担が大きいなどの課題もあります。負担を軽減する職員間連携の仕組みや外部研修活用など、取り入れやすい工夫の視点も学びます。</p>

※本研修は、対象施設〔特別養護老人ホーム、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護療養施設サービスなど〕における安全対策担当者が受講することが求められている安全対策体制加算対応の「外部の研修」に該当します。

※詳細については、所轄行政担当所管（北海道、札幌市、中核市等）にお問い合わせください。